

北九州市地域情報化基本計画

Master Plan on Information Society in Kitakyushu City

キーワード

地域情報化、地域産業振興、市民サービス、情報通信基盤

1. 調査の目的

21世紀を目前にして、インターネットやコンピュータを始めとする情報技術（IT）の革新は急速に進んでいる。これらの情報化の潮流は、市民生活、地域産業、地域社会、行政サービスのあらゆる分野において大きなうねりとなりつつある。

このような時代の中で、北九州市は「情報先進都市」として新たな段階に突入しようとしている。北九州情報ネットワークや北九州情報ひろばといった地域情報基盤の整備に加え、市内イントラネット構想も具体化されようとしている。

本調査は、おおむね2005年を目途に、北九州市における地域情報化の基本方向を検討したものである。

2. 調査研究成果概要

(1) 地域情報化ビジョンの3つの柱

このような時代背景において、情報化の進展は、市民の日々の暮らし、地域産業経済、社会サービスなど、あらゆる分野において大きな変革を引き起こしつつある。

新しい情報通信メディアや通信ネットワークが地域社会にもたらす変化は、これまでのどの時代よりも広範かつ急速に浸透しつつある。このような情報化の将来展開を見据えた上で、さきほどの「北九州市ルネッサンス構想」をさらに実りあるものに開花させていく必要がある。

全体は3つの柱と、これらをささえる「地域情報通信基盤」からなる。

情報化ビジョン全体のキャッチフレーズは「情報化で21世紀にはばたく北九州」。

これらを支える「地域情報基盤」は、インターネットや都市型CATVのような地域内情報通信基盤と、ギガビットネットワークのような広域情報通信基盤からなる。

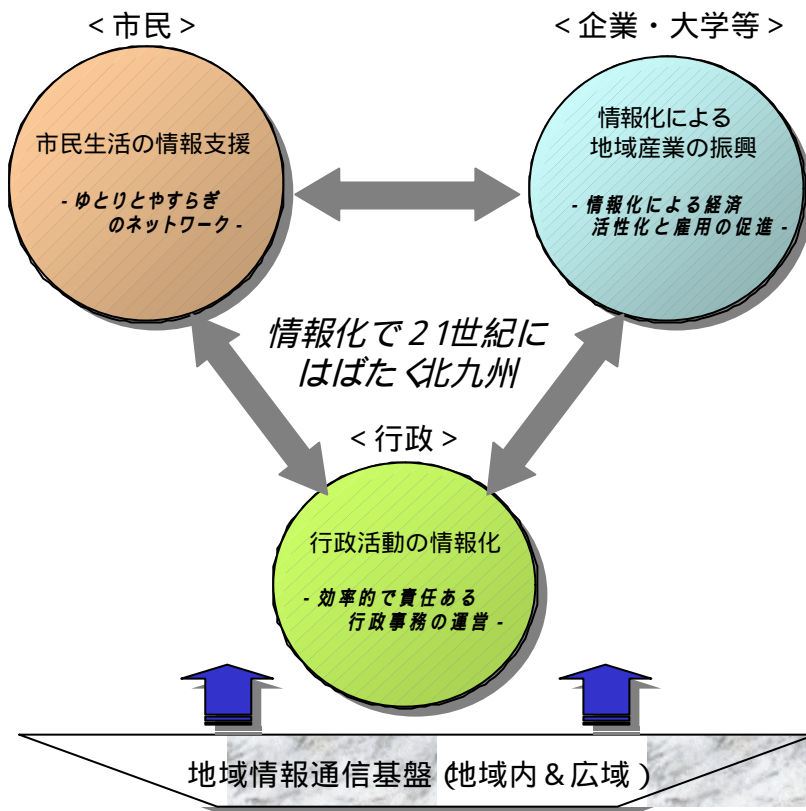


図1 北九州市地域情報化ビジョンの基本フレーム

さらに、3本の柱をベースに具体的な情報化施策の方向性を図示したのが、図2である。「市民生活の情報支援」、「情報化による地域産業振興」、「行政活動の情報化」の3つの主翼とそれらを支える多数の羽根（具体的施策群）が、全体として「情報化で21世紀にはばたく北九州」をイメージ表現している。

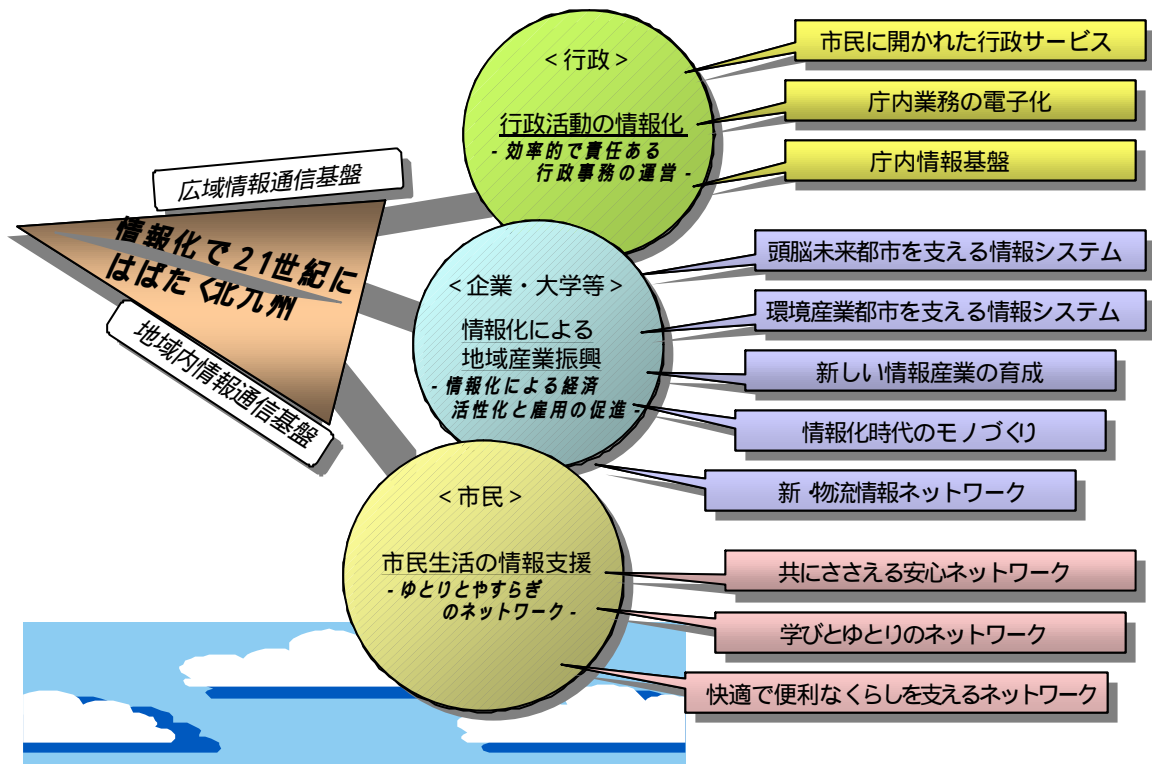


図2 「北九州市地域情報化ビジョン」と施策展開の分野